

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）画像評価について

画像評価表は、「胃内視鏡検診マニュアル」と大阪市を参考に作成（資料 6 参照）。

【対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル P37. 38 より】

●画像点検

病変を正しく拾い上げるため、胃内視鏡検診では網羅性の高い画像が要求される。検査医の技量を改善するためにも、画像について定期的な点検調査を行うべきである。画像点検では、画像の網羅性、画像の条件、内視鏡操作による物理的粘膜損傷の程度、空気量、画像のコマ数、前処置などを評価する。前処置が不十分であったり、内視鏡操作による物理的粘膜損傷が大きかった場合も、観察を阻害する要因となる。また、生検を行った場合は、生検の妥当性を評価する。生検後の出血による受診者の不利益に配慮し、生検は最小限に留めるべきである。画像点検の評価結果は、各検診機関にフィードバックする。各検診機関は、評価で指摘された点についての改善に努める。

参考) 大阪市の胃がん検診（胃内視鏡検査）体制

運営委員会 8 名、画像評価委員会 4 名で精度管理を行っている。